

C02 25%削減宣言！！

環境に優しい社会を創造します

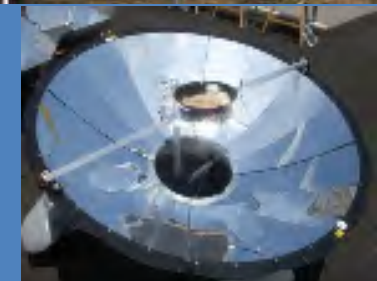
We create an environment-friendly society.



World Environment Improvement Organization

特定非営利活動法人世界環境改善連合

ソーラーシェアリング検証地
「上総鶴舞ソーラー発電所」



団体名：特定非営利活動法人 世界環境改善連合

代表者：理事長 吾郷 巖(あごう いわお)

法人認証年月日：2003年1月6日 所轄庁：内閣府

主たる事務所：〒110-0005

東京都台東区上野5丁目3番7号ETⅡビル3F

ホームページ：<http://www.npo-weo.org/>



【目的】

世界的な緊急課題である地球温暖化防止を、国内では、社会教育、子どもの健全育成も通じ、個人レベルでの意識向上を図ると共に、世界的な広がりを図り、世界世論の醸成も図って、この問題解決のスピードアップに寄与することを主たる目的とし、これらの活動を、極力、健全な高齢者層の活躍の場として行うことにより、この層に生き甲斐と雇用の場を生み出し、長寿化社会において、福祉の向上と社会の活性化に寄与することも併せ目的とする。

【活動分野】

保健、医療又は福祉の増進を図る活動・環境の保全を図る活動
地域安全活動・国際協力の活動・前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

【ご挨拶】

当NPOは「地球温暖化防止」を主眼として10年前に設立し、月1の勉強・PR会を重ね125回に至りました。なにぶん課題は大きく地球大気温暖化ガス増加を防止ですから、世界中の志を同じうする人々と手を携えて行かなくてはならない、さりとて実際に取りあえず手がけうるのは身近な「環境改善」活動とその啓蒙活動で、一隅を照らしつつ、次第に広げていかねばならない。という意味で「世界環境改善連合」という一見大きな名前となったものです。

とはいえ大きく進めるにはやはり大きな力、政治が動かなければ急速な広がりには期待できません。2009年、日米で大きな政変がありました。日本では半世紀ぶりに与党が圧勝を以て交代し、初代鳩山首相は国際的に「2020年までに地球温暖化ガス25%削減」を標榜し喝采をあげました。しかし国内では、経団連を初め労働界、果ては環境省の役人までが「無理だ」と論じました。既に家電量販店が家庭用太陽光発電設備を2百万円を切る価格で、すなわちいわば社会が採算性を保証した形が現にある時代内燃機関に比べ数倍の効率を持つEVが指呼の間に来ている時代、時至れりと考え、マクロ的にエネルギー種別と需要分野別の連立分析の元「25%削減は十分可能」論を環境雑誌に寄稿すると共に、聞く耳を持つ新首相に提言しました。

賛同者も居るには居ましたが、利を生むという概念を持たなかったようで、当然の如く「環境税」論議を始めました。採算性があることをするのに税が要るとはおかしなことと考え、試算をしてみると、75兆円を太陽電池、風力発電、電気自動車、民生家電エネなどに循環投資していけば2020年には達成でき、投資額もほぼ回収できると出ました。そこで第2弾、「地球温暖化ガス削減25%は国民の負担無くできる！」を提言しました。幸いご賛同を得て、「経済成長と地球温暖化防止の両立を目指す議員連盟」が2010年4月立ち上がりました。

現在重大にして緊急度の高い東日本大震災復興と福島原発問題解決が焦眉の急で、復興国債23兆円の償還増税9.2兆円、が当面与野党合意の結論となっております。しかし原点に立ち返って考えればむしろ今こそ自然エネルギー活用拡大に注力し、28兆円にのんぼんとする化石燃料輸入費をほんの1/3ほど太陽光と風力発電に切り替えるだけで、10年も15年もいりません、ほんの1年で9.2兆円を生み出すことができるのですから。

敬虔、真摯に天の恵みにすがろうではありませんか！天は自ら助くる者を助く。

吾郷 巖

【連合の目的と入会について】 ※定款抜粋から

第2章 目的及び事業

第4条(特定非営利活動の種類)

この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動をおこなう。

- (1)環境の保全を図る活動
- (2)保険、医療又は福祉の増進を図る活動
- (3)社会教育の推進を図る活動
- (4)文化・芸術又はスポーツの新興を図る活動
- (5)国際協力の活動
- (6)子どもの健全育成を図る活動
- (7)法第2条別表の12号に該当する団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動。

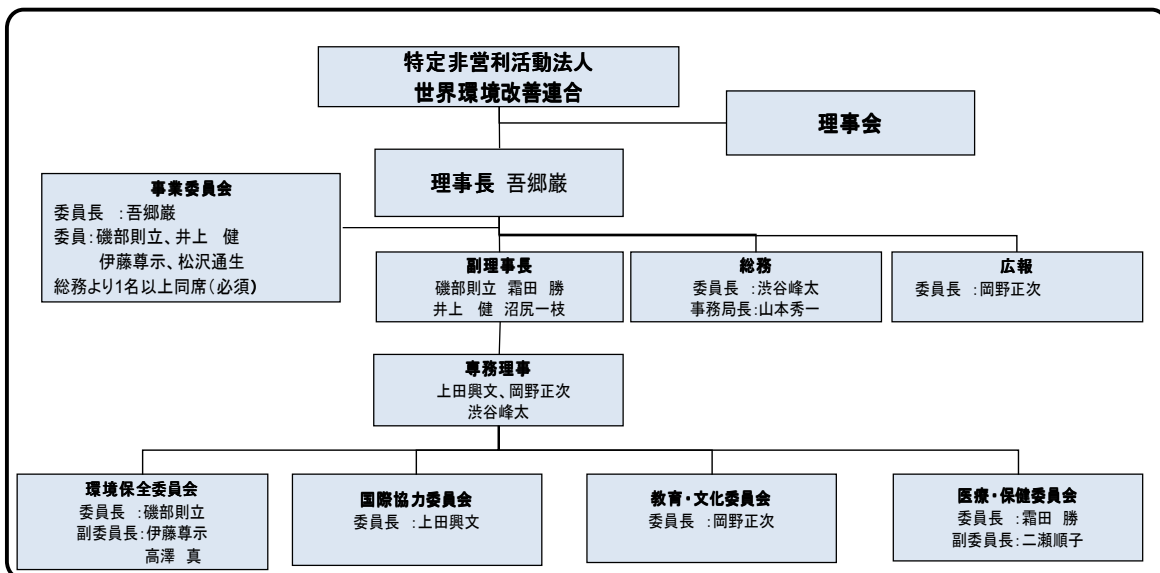
第11章 雑則

第59条(細則)

付則(6)この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定に関わらず、次の通りとする。

- ①入会金は、正会員のみ4000円徴収する。
- ②正会員の会費は年額 6000円とする。
- ③賛助会員の会費は年額120000円とする。
- ④協賛会員の会費は年額 3000円とする。
- ⑤特別会員の会費は個々に協定する。

【体制図】



【役員・委員会】

理事長	吾郷 巖			
副理事長	井上 健	磯部 則立	霜田 勝	沼尻 一枝
専務理事	上田 興文 (渉外委員長)	岡野 正次 (広報委員長)	渋谷 峰太 (総務委員長)	
常務理事	山口 康夫 (港区支部長)	石川 勝敏 (事業)	山本 秀一 (事務局長)	伊東 秀介 (事業)
	伊藤 尊示 (省エネ分科会)	高澤 真 (バイオマス分科会)	四 竈 丈 夫 (文化交流事業)	酒井 学雄 (メディア管理)
	深田 憲治			
理 事	鈴木 康弘 (事業)	久保 英昭 (事業)	二瀬 順子 (事業)	吉田 尚義 (事業)
	小野 寺良信 (山形支部長)	山下 智栄子 (環境整備事業)	手塚 信利 (バイオマス事業)	小瀧 達男 (事業)
	もり 愛 (大田区議)	池田 耕三 (水処理事業)	南 埜 幸 信 (食の分科会)	趙 蕾 (中国支部)
	諭 一章 (中国支部)	河原木浩太郎	細岡敏夫	
特別顧問	松澤 通生			
監 事	山内 隆			

事業委員会	
目的	事業化計画の検討、および承認
委員長	吾郷 巖
副委員長	井上 健
	磯部 則立
その他	伊藤 尊示 松澤 通生 開催時総務1名以上の参加が必須
環境保全委員会	
委員長	磯部 則立
副委員長	伊藤 尊示 高澤 真
所属分科会	省エネ、ソーラシェアリング、バイオマス
国際協力委員会	
委員長	上田 興文
所属分科会	ミャンマープロジェクト、東日本大震災支援
教育・文化委員会	
委員長	岡野 正次
所属分科会	省エネ、ソーラシェアリング指導
医療・保健委員会	
委員長	霜田 勝
副委員長	二瀬 順子
所属分科会	食と環境／オーガニック

CO2削減について

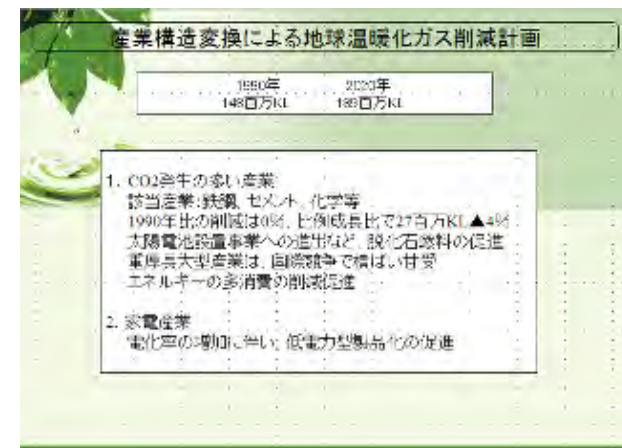
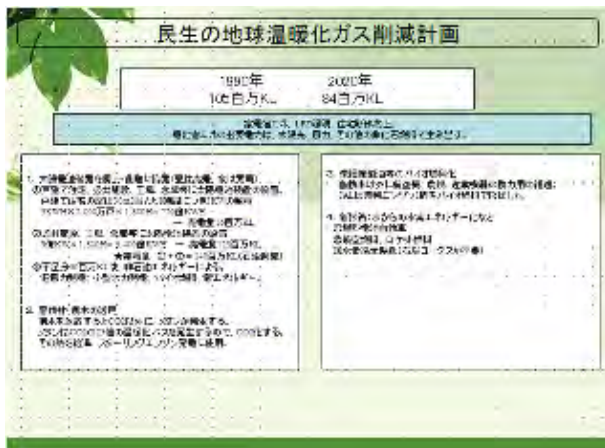
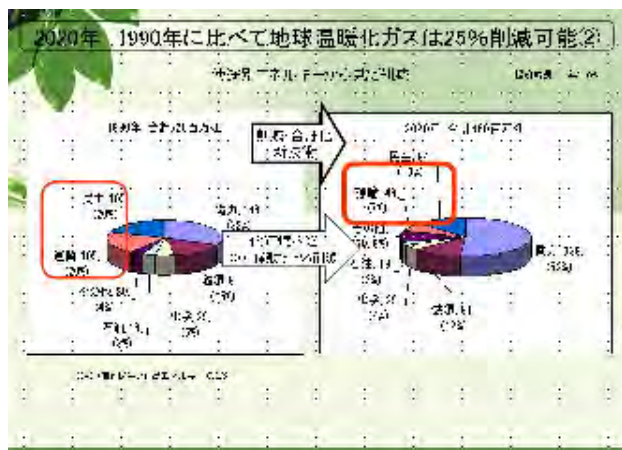
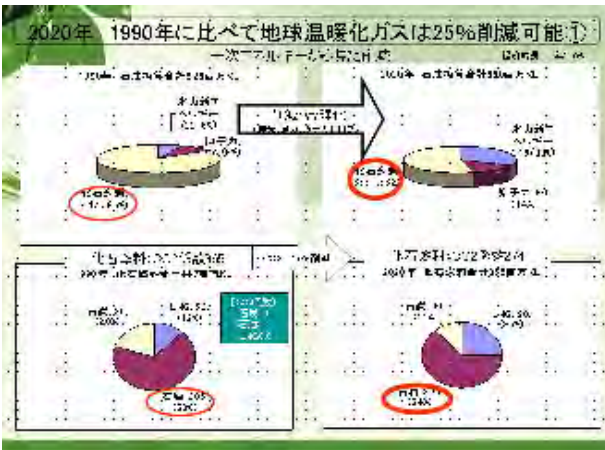


太陽光、風力、地熱、バイオマス、海水温度差、潮流等による再生可能エネルギー利用によるCO2削減社会実現への提言

(提言の目的)

1. わが国の四方海に囲まれた国土は、森林、河川、海洋など自然エネルギーを産出あらゆる条件を有している国家であること。
2. 地球規模で問われている温暖化提言に対する抜本的な政策転換が必要なこと。
3. 2005年に発行した京都議定書で、わが国は温暖効果ガスを、2012年までに1990年比6%削減することを約束し2009年国連において元鳩山首相は25%削減を約束しました。
4. 我が国の産業界は懸命な自助努力により削減目標を地道に遂行しております。民生部門及び運輸部門は放置状態になっている為に我が国の総排出量は逆に増加しております。
5. 温暖化が進むと海面上昇や、異常気象など様々な影響があると推測されております。

(削減のための事例)



省エネ分科会/ソーラーシェアリング研究部会

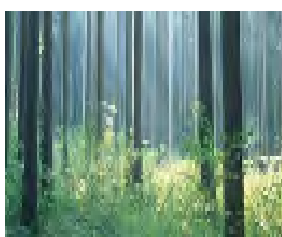
【目的】

省エネ分科会は、省エネの推進、及び自然エネルギー(太陽光、バイオマス、風力、水力)の活用を推進し、環境にやさしい持続可能な社会の構築を目指します。そして1990年比で2020年までに25%のCO2削減を目指し、地球規模で進んでいる環境破壊、温暖化の流れを食い止める活動を推進しています。

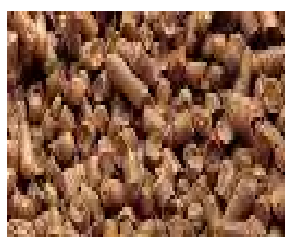


【取組内容】

1. 中小企業に対するエネルギー有効活用の仕組みづくりの提案
2. 再生可能エネルギー調査活動(低炭素社会の構築)
 - (1)太陽エネルギー
 - ・ソーラーシェアリングの調査検討
 - ・上総鶴舞ソーラー発電所での実証実験
 - (2)バイオマスエネルギー
 - ・間伐材利用(森の保全・木質ペレットストーブ)、スターリングエンジンによる小規模発電システム
 - ・フィリピン・ピナツボ火山噴火跡地における、ジャトロファ植樹支援(緑地化・雇用創出/種から代替燃料・有機肥料・土壌改良材の生産)
 - (3)バイオマスタウン構想の検討
 - ・農業・農村の6次産業化構想の検討(地域ビジネスの展開)、里山文化の維持活動
 - (4)LED、無機EL事業の企画、開発に関する調査検討



日本の森を守る(森林環境保全)



木質ペレット(間伐材利用)



スターリングエンジ



ペレットストーブ(地産地消エネルギー)



太陽エネルギー利用(太陽光発電)



里山文化の維持

食と環境分科会

【目的】

人にとって「食」は最も大切なものです。安全・安心な「食」を生産する事はもっとも身近な環境問題です。当分科会では、安全・安心な環境づくりによる「食」の改善を図り、かつ、その技術の情報発信による国際交流を目的としています。

【取組内容】

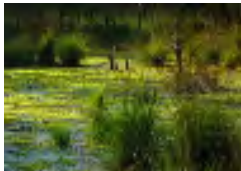
1. オーガニック

食の安全の一環としてオーガニック食品の普及・啓蒙を行っています。

具体例として「特定非営利活動法人 オーガニック事業協会」とのフェア共催など



2. 現代の里山づくり



・生物多様性

ビオトープや里山を通して、自然循環・生態系について学び実践する

3. 国際交流

日本の高い技術を世界に発信する。

<p>国内外の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外から日本の農業・食品関連技術を学ぶ人材を輩出する 日本への海外からの技術交流を行う <p>日本の最新技術の国際展開・海外の人材育成を行う</p>		<p>研修受け入れによる国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外研修生受け入れにより、地方自治体における国際交流が促進される 地方自治体独自の特色ある研修を実施 <p>国際交流により地方自治体の魅力を高める</p>
<p>ドキュメンタリー配信</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外研修生に研修内容をドキュメンタリーとしてWebサイトから動画配信する 国内外向けに多くの地域に情報を配信する <p>プロジェクトX、ゴイア国際祭のような国際コンテスト</p>		<p>日本の最新技術を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の最新技術を国際的な国際農業・食料博覧会へ伝える 日本の特色ある技術に関する国際的な情報発信 <p>日本の最新技術を利用し、国際的な農業・食料を伝える</p>

教育分科会

【目的】

低炭素社会を実現するためには、子供たちの意識が大切になります。
各分野の専門家に御協力いただき、「環境」と「食」をテーマとした子供たちの学びの場を作り出すことを目的にしています。

【取組内容】

1. 環境改善・再生可能エネルギー

- (1)学ぶ: 再生可能エネルギーの仕組みと効果を学ぶ
- (2)見る: 再生可能エネルギーを利用・研究・開発しているところを見学
- (3)使う: 自分で使ってみることで、再生可能エネルギーの恩恵を体験する



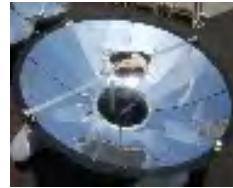
太陽光発電



マイクロ風力発電



小水力発電



太陽熱調理器具



段ボール利用のソーラークッカー

活動実例

東日本大震災の支援活動として、足利工業大学の中條教授からご提供いただいたソーラークッカーを、被災地の小学校に寄贈しました。子供たちが自ら使うことで、環境教育と食育の両方に役立つということで、大変喜ばれています。

2. ソーラーシェアリング指導士育成

当協会推進中のソーラーシェアリングの推進のための指導者の育成を目的に教育を行います。



3. 食育

- (1)農業体験: つくることの楽しさと喜び、そして大切さを学ぶ
耕す・植える・育てる・収穫する・売る
- (2)食のワークショップ: 食べることの楽しさと喜び、そして大切さを学ぶ
食材を知る・料理する・食べる・片付ける



【活動】

活動の一部をご紹介します。皆さんの参加をお待ちしています。



勉強会の様子。みんな真剣ですね。



その後は会場を移してワイワイと。



ソーラー発電所へ。手作り感満載。



【連合会の歩み】(2003-2012 抜粋)

- 2003.01 NPO法人設立。
- 2009.09 『地球温暖化ガス25%削減は可能』を提唱。
- 2010.02 鳩山前総理大臣に具申。
- 2010.04 『地球温暖化対策と経済成長の両立をめざす議員連盟』を旗揚げに協力。
- 2011.03 東日本大震災被災地支援に参画。
- 2011.04 各分科会の立ち上げを行い活動の活発化。
- 2011.08 「第100回記念・勉強会」星陵会館
- 2011.09 「横浜支部設立」
- 2012.07 千葉・市原市ソーラーシェアリング見学
- 2012.08 港区支部設立
- 2012.09 「ソーラーシェアリング計画」発表
- 2012.10 ソーラーシェアリングを「上総鶴舞ソーラー発電所」と命名
- 2012.10 シンポジウム「低炭素社会に向けて」に参加
- 2012.11 「第7回芝浦オーガニックマーケット」共同開催
- 2012.12 「健康と気象の関連・奈良実証実験」報告
石川勝敏理事

【連合会歩み】(2013以降)

- 2013.01 創立10周年記念新年会開催・星陵会館
- 2013.01 「上総鶴舞ソーラー発電所」施工打合せ 高澤理事ほか
- 2013.02 「原子力発電の現状」東芝・森建二技官の勉強会講演
- 2013.03 「上総鶴舞ソーラー発電所」設置工事作業完了
- 2013.04 「上総鶴舞ソーラー発電所」開所式
- 2013.05 「分譲型市民ソーラーと緑の分譲」紹介 小野寺理事
- 2013.05 「農作と太陽光発電を両立させるシステムの事業化可能調査」報告 日本計装・秦課長
- 2013.06 「6次産業事業と農業について」事業参入報告
池田耕三郎理事
- 2013.07 「ソーラーシェアリングへの道」農業委員会マニュアル発表
高澤理事
- 2013.8 「食品放射線測定システム」勉強会講演
- 2013.9 「第125回・勉強会」港区立エコプラザ
- 2013.10 「ファーマーズフェア・自然栽培フェア」中野セントラルパーク主催

【アクセス】



【交通】

- JR御徒町駅より
- 徒歩5分
- 1. 南南西に進む 65m
- 2. 道路を渡る 5m
- 3. 横断歩道を渡る 7m
- 4. 右折 83m
- 5. 横断歩道を渡る 91m
- 6. 道路を渡る 34m
- 7. 横断歩道を渡る 37m
- 8. 道路を渡る 23m
- 9. 横断歩道を渡る 70m
- 10. 道路を渡る 4m
- 11. 左折 11m
- 事務所到着

【問合せ先】

特定非営利法人世界環境改善連合

〒110-0005

東京都台東区上野5丁目3番7号ETⅡビル3F

TEL:03-3837-0625 FAX:03-3836-6340

ホームページ・メールアドレス

<http://www.npo-weo.org/> mail : info@npo-weo.org

【担当者連絡先】